

老年看護学演習

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 相馬 一二三 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分・時間数	演習 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

老年期は、身体の諸機能が低下するが、衰退現象のみに視点を置くのではなく、高齢者の持てる力に注目し、セルフケア能力を活用した自立・自律の援助が大切である。高齢者に特徴的な疾患・症状を学び、援助の必要性の科学的な根拠を持ち、個別に応じた援助ができるよう知識・技術を学ぶ。また、高齢者のセルフケア能力の向上を支援する技術・態度を習得する。さらに、最後までその人らしく生きることを支援する方法を身に付ける。

・教育成果（アウトカム）

高齢者の生活機能の視点からアセスメントすることで、もてる力に焦点をおいた看護過程の展開ができる。対象者のもてる力を引き出す援助を意識することで、環境を整え強みを活かす支援を身につけることができる。高齢者のこれまでの生活習慣や特徴的な疾患・症状を学ぶことで、障害をもちながらも生活する高齢者や家族の思いに対して理解を深め、チームアプローチや社会資源の活用方法の実際を考えることができる。個々の生活の場に応じた援助の方法やその人らしく生きることを支援する看護実践を習得できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 高齢者の生活機能の視点からアセスメントし、目標志向型の看護過程の展開ができる。
2. 高齢者の生活の場が変化することを学ぶことで、多職種との連携や社会資源の活用方法を説明できる。
3. 高齢者の回復過程に応じた看護を理解し、もてる力を引き出す看護を実施できる。
4. 高齢者の生活史を理解することで、尊重した態度を身につけることができる。
5. 認知症の症状をアセスメントし倫理を含めたケアについて理解し実践できる。
6. その人らしく生活できる生活指導について説明できる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室

(矢) マルチ 2-A 実習室、 (矢) マルチ 2-B 実習室

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/3	金	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	演習に関するオリエンテーション 高齢者の生活を支える看護の実際 ・ 事例を基に生活行動モデルに沿ったアセスメントの仕方を適用できる ・ 事例を基に情報収集した内容を科学的根拠に基づきアセスメントできる ・ GWをとおして理解を深めることができる
4/6	月	3	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	高齢者の生活を支える看護の実際 ・ 事例を基に高齢者の生活機能の観点から「看護の焦点」と「看護目標」についてGWをとおし考えをまとめることができる
4/6	月	4	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	高齢者の生活を支える看護の実際 ・ GWで考えた「看護の焦点」と「看護目標」とその根拠を説明できる <発表時間 1G : 5分>
4/13	月	4	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	口から食べることを支える看護の実際 ・ 根拠に基づき、正しいポジショニングやとろみを使用する必要性について説明できる ・ ポジショニングを行い、患者の反応と観察のポイントを述べるができる ・ 食事介助時のポイントを述べるができる ・ 義歯の入れ方・外し方・洗浄の方法を説明できる

4/15	水	3	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	<p>口から食べることを支える看護の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポジショニングに必要な物品を準備できる ・誤嚥性肺炎を予防するため正しいポジショニングが実践できる ・誤嚥性肺炎を予防するため、とろみを調整できる ・患者の反応・実施した内容を評価できる ・義歯の入れ方・外し方・洗浄が実施できる
4/15	水	4	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	<p>口から食べることを支える看護の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポジショニングに必要な物品を準備できる ・誤嚥性肺炎を予防するため正しいポジショニングが実践できる ・誤嚥性肺炎を予防するため、とろみを調整できる ・患者の反応・実施した内容を評価できる ・義歯の入れ方・外し方・洗浄が実施できる
4/22	水	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	<p>移動・起立・移乗を支える看護の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害を受けた高齢者の疑似体験を通して高齢者の安全管理の仕方を工夫できる ・せん妄に対しての関わりができる ・前立腺がん術後で尿失禁がある患者の看護を述べることができる
4/28	火	3	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	<p>移動・起立・移乗を支える看護の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害を受けた高齢者の疑似体験を通して高齢者の安全管理について実践できる ・せん妄に対しての関わりができる ・前立腺がん術後で尿失禁がある患者の看護を実践できる

4/28	火	4	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	<p>移動・起立・移乗を支える看護の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害を受けた高齢者の疑似体験を通して高齢者の安全管理について実践できる ・せん妄に対してのケアを実践できる ・前立腺がん術後で尿失禁がある患者の看護を実践できる
5/8	金	3	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	<p>高齢者の楽しみ・生きがいづくりのケアの実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションの必要性を述べることができる ・高齢者の楽しみ・生きがいとなるレクリエーションを計画・実施できる
6/15	月	1	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	<p>もてる力を引き出す看護の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の症状に対しての対応の仕方について動画を見て理解を深めることができる ・退院に向けて、院内ではどのような仕組みになっているか理解できる（退院支援・退院調整）
6/17	水	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	<p>もてる力を引き出す看護の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の対応の仕方について事例を基にGWで考え実践できる事例 ・入浴拒否をする認知症高齢者 ・物盗られ妄想のある認知症高齢者 ・夕方になると自宅に帰ると徘徊する認知症高齢者 ・ご飯を食べさせてくれないと言う認知症高齢者

6/17	水	3	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	もてる力を引き出す看護の実際 ・認知症高齢者の対応の仕方について事例を基にGWで考え実践できる事例 ・入浴拒否をする認知症高齢者 ・物盗られ妄想のある認知症高齢者 ・夕方になると自宅に帰ると徘徊する認知症高齢者 ・ご飯を食べさせてくれないと言う認知症高齢者
7/7	火	1	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	その人らしく生活できる指導の実際 ・その人らしく生活できるための支援方法を考え、考えた内容を説明できる（退院指導） ・GWをとおして考えたパンフレットの内容を説明できる（発表時間：6分以内）
7/7	火	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	その人らしく生活できる指導の実際 ・その人らしく生活できるための支援方法を考え、考えた内容を説明できる（退院指導） ・GWをとおして考えたパンフレットの内容を説明できる（発表時間：6分以内）

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	高齢者看護の実践 第4版	堀内 ふき他	メディカ出版	2016
教	高齢者の健康と障害 第5版	堀内 ふき他	メディカ出版	2016

参	生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図 第3版	山田 律子他	医学書院	2016
---	-------------------------------	--------	------	------

・成績評価方法

筆記試験 90%、演習の取り組み 10%とし総合的に評価する。

*演習の取り組みは、指示に応じて行動ができることや提出物などで評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前学修については、各回最後に提示する次回の事前学習の予習ポイント・課題に取り組むこと。また、各回最低 30 分以上を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

技術に関してのフィードバックは、その都度、指導し学生個々の技術の習得に努める。

【授業方法について】

演習に関しては、動画を取り入れるなどイメージしやすいように工夫する。

グループワークなどアクティブラーニングを取り入れ、問題解決方法やコミュニケーション能力を身につける。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 老年看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FHZ55）	1	講義用スライド投影
演習	車いす	8台	移乗動作の練習
演習	杖	7本	歩行訓練時に使用
演習	義歯	10ヶ	口腔ケア（義歯の洗浄）